

# 歯科健診 5 年間のまとめと報告

歯科健康診断が開催されて当初の5年の計画が終了しました。  
計画終了にあたり、5年間のまとめを報告いたします。

5年間歯科健診でう蝕（むし歯）、歯肉の状態は改善されています。  
今後も定期的な健診と毎日のブラッシングで6024、8020を目指しましょう。

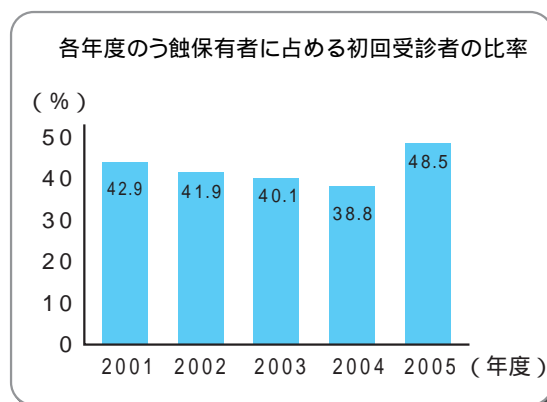
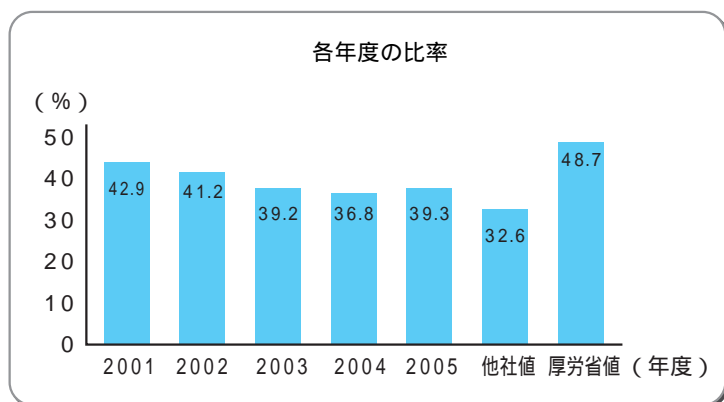


## 1 う蝕保有者数比率(%)

う蝕保有者に関しては、厚生労働省歯科疾患実態調査数値よりは押しなべて下回っており、年度を追うごとに保有者比率は減っていましたが、2005年度は若干数値が上りました。

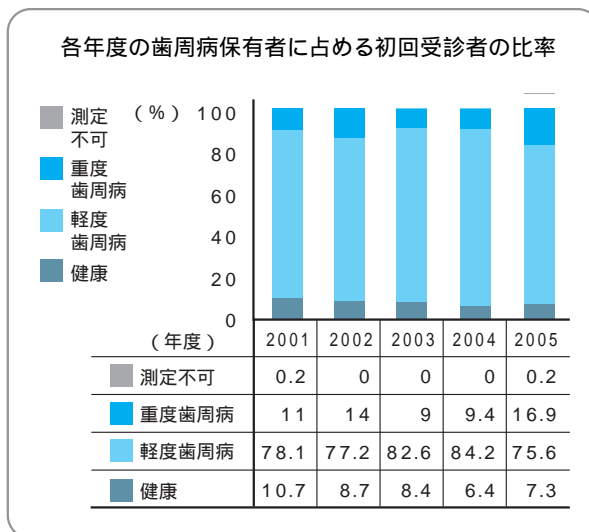
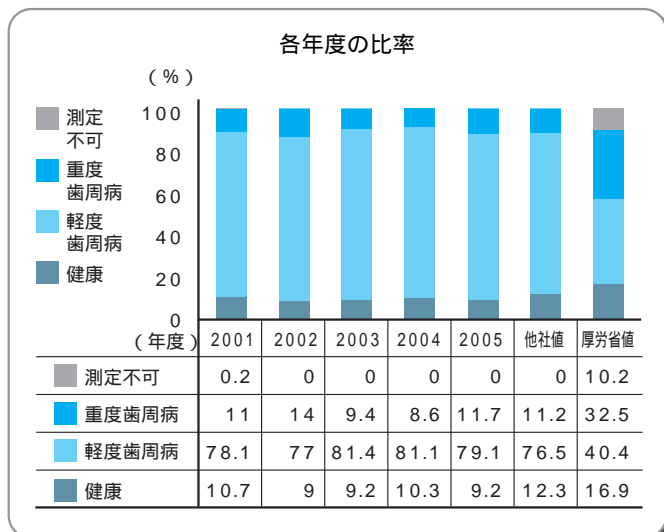
他社値と比べるとまだ数値に開きがあり、今後改善の余地は大いにあると思われます。

また、各年度初回受診者のうち、う蝕保有者に関しては01年度から04年度までは前回は下回っていましたが、2005年度の初回受診者のう蝕保有率が非常に高く05年度全体の数値を押し上げる結果となりました。



## 2 歯肉の状態(%)

歯肉の状態については5年間を通じて「軽度歯周病」が最も多い割合を占めています。また、他社値との比較では「軽度」「重度」とともに多い値となっています。日々の正しいブラッシング等で歯の健康維持を心がけましょう。

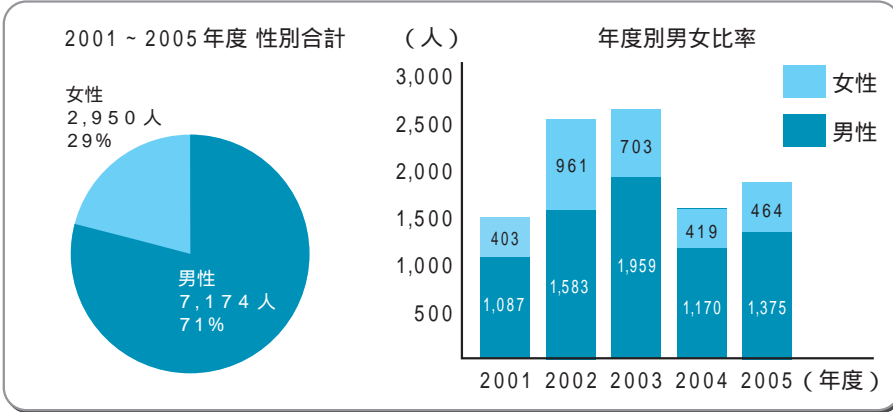




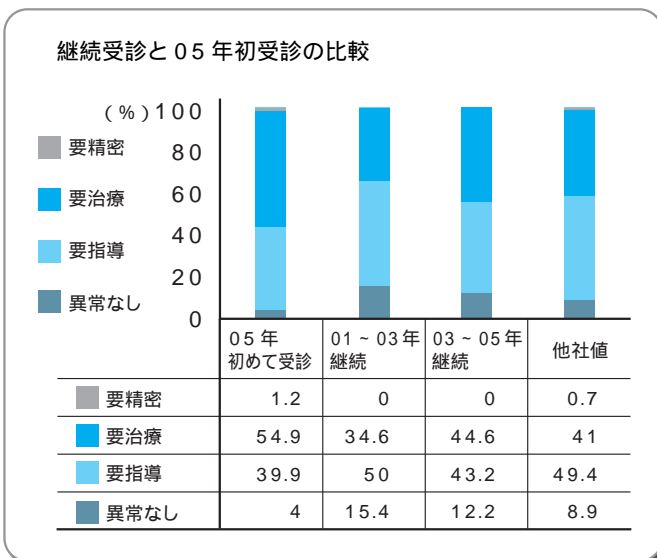
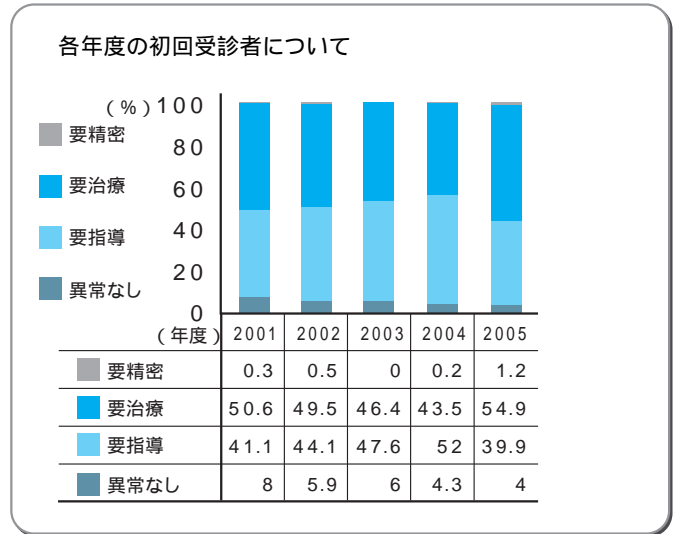
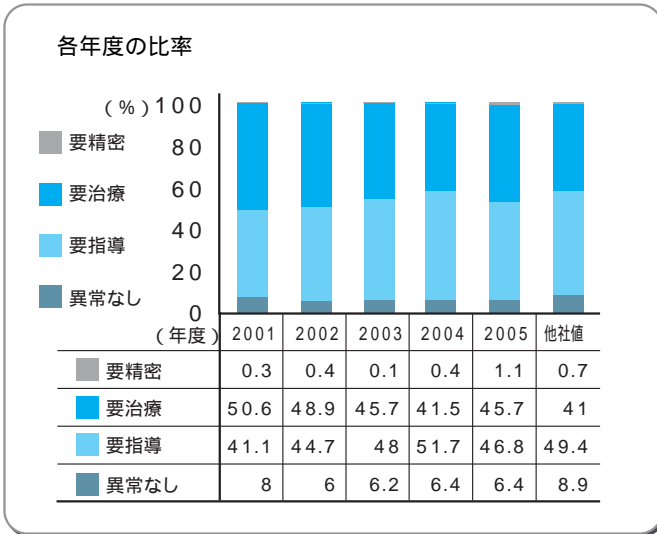
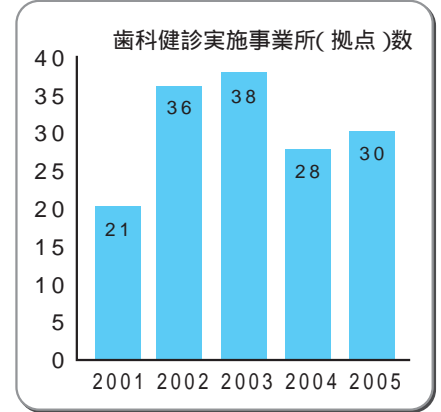
### 総合結果(%)

受診人数について

5年間で延 10,124 人の受診となりました。



受診事業所(拠点数)について  
2002年度より30拠点以上で実施されました。今後も更に多くの事業所で開催していただき歯の健康向上に繋がればと考えております。



総合結果から年々「要治療」が減少しており良い傾向です。「要治療」としては「う蝕」が最も多く、次いで「歯周炎」になっています。

う蝕や歯周炎は歯科医院での適切な治療によって改善します。歯科健診で治療が必要とされた方は早期に通院をしていただきたいと思います。

05年度の初回受診者は清掃状態・歯石の状態・歯肉の状態それぞれとも芳しくなく、口腔内の衛生状態がよろしくない状態です。それに伴い要治療・要精密検査の比率が高くなっています。また、初回受診者は96%の方が要指導以上のケアが必要な状況であり、要治療者の内訳は複合的な疾患をかかえている状況です。

6024(60歳で24本以上の歯を保持する運動)を目標に今から歯の健康を日々意識していきましょう。

定期的に歯科健診を行うことで歯の健康が維持されることがわかります。  
今後も歯のケアを心がけていきましょう!